

【商業簿記解説】

問題1 仕訳問題(為替予約)(以下、単位:円)

1. 振当処理

(1) 商品販売時(X1年3月10日)

(売 掛 金) (*)	102,000	(売 上)	102,000
---------------	---------	---------	---------

(*) @102<販売時の直物為替相場>×1,000ドル=102,000

(2) 為替予約時(X1年3月20日)

(為 替 差 損 益) (*2)	2,000	(売 掛 金) (*1)	3,000
(前 払 費 用) (*3)	1,000		

(*) @99<予約時の先物為替相場>×1,000ドル=99,000

99,000-102,000=△3,000<為替予約差額=売掛金の減少>

(*2) @100<予約時の直物為替相場>×1,000ドル=100,000

100,000-102,000=△2,000<直々差額=売掛金の減少=為替差損>

(*3) 99,000-100,000=△1,000<直先差額=売掛金の減少=前払費用>

(3) 決算時(X1年3月31日)

(為 替 差 損 益)	500	(前 払 費 用) (*)	500
---------------	-----	-----------------	-----

(*) $1,000 \times \frac{1 \text{ か月}}{2 \text{ か月}} = 500$

(4) 決済時(X1年4月10日)

(当 座 預 金)	99,000	(売 掛 金)	99,000
(為 替 差 損 益)	500	(前 払 費 用) (*)	500

(*) 1,000-500=500

2. 通常のデリバティブ取引として処理(独立処理)

(1) 商品販売時(X1年3月10日)

(売 掛 金) (*)	102,000	(売 上)	102,000
---------------	---------	---------	---------

(*) @102<販売時の直物為替相場>×1,000ドル=102,000

(2) 為替予約時(X1年3月20日)

ドル売りの予約であるため、この時点で為替予約未収金は99,000円で確定する。

(為 替 予 約 未 収 金) (*)	99,000	(為 替 予 約 未 払 金)	99,000
-----------------------	--------	-------------------	--------

(*) @99<予約時の先物為替相場>×1,000ドル=99,000

(3) 決算時(X1年3月31日)

(為 替 差 損 益)	6,000	(売 掛 金) (*1)	6,000
(為 替 予 約 未 払 金) (*2)	2,000	(為 替 差 損 益)	2,000

(*) @96<決算時の直物為替相場>×1,000ドル=96,000

96,000-102,000=△6,000<売掛金の減少=為替差損>

(*2) @97<決算時の先物為替相場>×1,000ドル=97,000

97,000-99,000=△2,000<為替予約未払金の減少=為替差益>

(4) 決済時 (X1年4月10日)

① 売掛金の決済

(当座預金) (*1)	98,000	(売掛金)	96,000
		(為替差損益) (*2)	2,000

(*1) @98<決済時の直物為替相場>×1,000ドル=98,000

(*2) 98,000-96,000=2,000<為替差益>

② 為替予約未収金の決済

(当座預金)	99,000	(為替予約未収金)	99,000
--------	--------	-----------	--------

③ 為替予約未払金の決済

(為替予約未払金)	97,000	(当座預金) (*1)	98,000
(為替差損益) (*2)	1,000		

(*1) @98<決済時の先物為替相場=決済時の直物為替相場>×1,000ドル=98,000

(*2) 97,000-98,000=△1,000<為替差損>

問題2 仕訳問題 (新株予約権付社債および自己新株予約権) (以下、単位：円)

(1) 発行日 (X1年4月1日)

(当座預金)	1,050,000	(社債) (*)	950,000
		(新株予約権)	100,000

(*) 1,050,000<発行価額>-100,000<新株予約権の対価部分>=950,000<社債の対価部分>

(2) 利払日及び決算日 (X2年3月31日)

① 利払日の処理

(社債利息) (*)	5,000	(当座預金)	5,000
------------	-------	--------	-------

(*) $1,000,000 \times 1\% \times \frac{6\text{か月}}{12\text{か月}} = 5,000$

② 決算日の処理 (償却原価法)

(社債利息) (*)	10,000	(社債)	10,000
------------	--------	------	--------

(*) $(1,000,000<額面金額>-950,000<社債の対価部分>) \div 5\text{年} = 10,000<毎期の償却額>$

(3) 自己新株予約権取得日 (X3年5月15日)

自己新株予約権の取得に係る付随費用は、自己新株予約権の取得原価に加算する。

(自己新株予約権) (*)	25,000	(当座預金)	25,000
---------------	--------	--------	--------

(*) @60×400個+1,000<手数料>=25,000

(4) 新株予約権行使日 (X4年10月20日)

(当座預金) (*1)	300,000	(資本金) (*3)	175,000
(新株予約権) (*2)	50,000	(資本準備金) (*3)	175,000

(*1) 500個×1株=500株

@600<行使価格>×500株=300,000

(*2) $100,000 \div 1,000\text{個} = @100$

@100×500個=50,000

(*3) $(300,000+50,000) \times \frac{1}{2} = 175,000$

(5) 自己新株予約権処分日 (X5年 1 月10日)

(当 座 預 金) (*1)	27,000	(自 己 新 株 予 約 権) (*2)	18,750
		(自己新株予約権処分損益) (*3)	8,250

(*1) @90×300個=27,000

(*2) $25,000 \times \frac{300\text{個}}{400\text{個}} = 18,750$

(*3) $27,000 - 18,750 = 8,250$

(6) 自己新株予約権消却日 (X5年 3 月25日)

消却した自己新株予約権の帳簿価額とこれに対応する新株予約権の帳簿価額との差額を当期の損益 (自己新株予約権消却損益) とする。

(新 株 予 約 権) (*1)	10,000	(自 己 新 株 予 約 権) (*2)	6,250
		(自己新株予約権消却損益) (*3)	3,750

(*1) @100×100個=10,000

(*2) $25,000 - 18,750 = 6,250$

(*3) $10,000 - 6,250 = 3,750$

(7) 利払日及び決算日 (X6年 3 月31日)

① 利払日の処理

(社 債 利 息) (*)	5,000	(当 座 預 金)	5,000
-----------------	-------	-------------	-------

(*) $1,000,000 \times 1\% \times \frac{6\text{か月}}{12\text{か月}} = 5,000$

② 償還の処理

(社 債 利 息)	10,000	(当 座 預 金) (*1)	1,000,000
(社 債) (*2)	990,000		

(*1) 額面金額

(*2) $950,000 + 10,000 \times 4\text{年} = 990,000$

(8) 権利行使期限日 (X6年 3 月31日)

(新 株 予 約 権) (*)	40,000	(新株予約権戻入益)	40,000
-------------------	--------	--------------	--------

(*) @100×400個=40,000

問題3 損益勘定と閉鎖残高勘定の作成（以下、単位：円）

1. 商品

(1) 売上原価の計算

(仕 入)	281,000	(繰越商品)	281,000
(繰越商品)	222,000	(仕 入)	222,000

(2) 商品Aの期末評価

(商品評価損) (*)	5,200	(繰越商品)	5,200
(仕 入)	5,200	(商品評価損)	5,200

(*) 30,000<帳簿価額>−24,800<正味売却価額>=5,200

∴ 損益 仕入：938,240<前T/B>+281,000−222,000+5,200=1,002,440

∴ 閉鎖残高 繰越商品：222,000−5,200=216,800

(3) 商品Bの売上割戻

(売上)	50,000	(電子記録債権) (*2)	55,000
(仮受消費税等) (*1)	5,000		

(*1) 50,000<税抜価格>×10%<消費税率>=5,000

(*2) 50,000+5,000=55,000

∴ 損益 売上：2,325,600<前T/B>−50,000=2,275,600

∴ 閉鎖残高 電子記録債権：356,800<前T/B>−55,000=301,800

2. 金銭債権（貸倒引当金の設定）

(貸倒引当金繰入) (*)	6,500	(貸倒引当金)	6,500
---------------	-------	---------	-------

(*) 301,800×3%=9,054<設定額=閉鎖残高 貸倒引当金>

9,054−2,554<前T/B電子記録債権>=6,500<繰入額>

3. 有価証券（その他有価証券 ～ 全部純資産直入法）

(その他有価証券) (*)	1,800	(その他有価証券評価差額金)	1,800
---------------	-------	----------------	-------

(*) 13,800<時価=閉鎖残高 その他有価証券>−12,000<前T/Bその他有価証券=取得原価>=1,800<評価益>

4. 有形固定資産

(1) 建物の減価償却（定額法）

(建物減価償却費) (*)	10,000	(建物減価償却累計額)	10,000
---------------	--------	-------------	--------

(*) 300,000<前T/B建物>÷30年<耐用年数>=10,000

∴ 閉鎖残高 建物減価償却累計額：120,000<前T/B>+10,000=130,000

(2) 備品の減価償却（定額法 ～ 耐用年数の変更）

(備品減価償却費) (*)	6,250	(備品減価償却累計額)	6,250
---------------	-------	-------------	-------

(*) (35,000<前T/B備品>−10,000<前T/B備品減価償却累計額>)÷4年<変更後の残存耐用年数>=6,250

∴ 閉鎖残高 備品減価償却累計額：10,000<前T/B>+6,250=16,250

(3) 投資不動産の受取地代

(受取地代) (*)	40,000	(前受地代)	40,000
------------	--------	--------	--------

(*) 60,000<前T/B受取地代>× $\frac{8\text{か月}}{12\text{か月}}$ =40,000

∴ 損益 受取地代：60,000<前T/B>−40,000=20,000

5. 退職給付

(1) 年金基金への拠出額

(退職給付引当金)	255	(仮払金)	255
-----------	-----	-------	-----

(2) 退職給付費用の計上

(退職給付費用) (*)	545	(退職給付引当金)	545
--------------	-----	-----------	-----

(*) 300<2X20年3月期の数理計算上の差異の発生額(貸方差異)>÷15年=20<退職給付費用から減算>

45<2X23年3月期の数理計算上の差異の発生額(借方差異)>÷15年=3<退職給付費用に加算>

628<勤務費用>+178<利息費用>-244<期待運用収益>-20+3=545

∴ 閉鎖残高 退職給付引当金 : 3,256<前T/B>-255+545=3,546

6. 剰余金の配当等

(繰越利益剰余金)	3,300	(仮払金)	3,000
		(利益準備金) (*)	300

(*) 3,000<剰余金の配当>× $\frac{1}{10}$ =300<要積立額>

1,000,000<資本金>× $\frac{1}{4}$ -(100,000<資本準備金>+32,000<利益準備金>)=118,000<積立可能額>

300 < 118,000 ∴ 300<積立額>

∴ 閉鎖残高 利益準備金 : 32,000<前T/B>+300=32,300

7. 長期借入金

(支払利息) (*)	2,000	(未払利息)	2,000
------------	-------	--------	-------

(*) 200,000<前T/B長期借入金>×2.4%<利率>× $\frac{5\text{ヵ月}}{12\text{ヵ月}}$ =2,000

∴ 損益 支払利息 : 2,800<前T/B>+2,000=4,800

8. 税金等

(1) 固定資産税

(未払税金)	2,250	(仮払金)	2,250
--------	-------	-------	-------

(2) 消費税

(仮受消費税等) (*1)	57,600	(仮払消費税等) (*2)	27,000
		(未払消費税等) (*3)	30,600

(*1) 62,600<前T/B仮受消費税等>-5,000=57,600

(*2) 前T/B仮払消費税等

(*3) 57,600-27,000=30,600

(3) 法人税等

(法人税等)	383,065	(仮払法人税等) (*1)	150,000
		(未払法人税等) (*2)	233,065

(*1) 前T/B仮払法人税等

(*2) 383,065-150,000=233,065

9. 当期純利益の振替え

(損益) (*)	700,000	(繰越利益剰余金)	700,000
----------	---------	-----------	---------

(*) 損益勘定の貸借差額

∴ 閉鎖残高 繰越利益剰余金 : 152,600<前T/B>-3,300+700,000=849,300

【財務会計解説】

問題1 正誤問題

解答参照。なお、関係する法令、会計基準等は、次のとおりである。

1. 未収収益 「企業会計原則注解【注5】」
2. 破産更生債権等の貸倒見積高 「金融商品に関する会計基準 28(3)」
3. 研究開発費を構成する原価要素について 「研究開発費等に係る会計基準注解(注1)」
4. 減損損失の認識 「固定資産の減損に係る会計基準 二 2(2)」
5. 株式交付費の会計処理 「繰延資産の会計処理に関する当面の取扱い 3(1)」
6. 時の経過による資産除去債務の調整額の処理 「資産除去債務に関する会計基準 9」
7. 株主資本 「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準 5」
8. 自己株式の取得、処分及び消却に関する付随費用 「自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準 14」
9. 原価回収基準 「収益認識に関する会計基準 45」
10. 負ののれんの表示 「企業結合に関する会計基準 48」

問題2 棚卸資産の評価に関する会計基準

解答参照。

問題3 退職給付に関する会計基準

解答参照。